

出題のねらい

ア. 全般的なねらい

思考力や想像力を働かせて国語を正確に理解し、的確に表現する力をみるために、国語の基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題した。

イ. 各問いのねらい

① 人間の悩みは自分の小さな世界にとらわれることで起こることを述べ、それを避けるためには、視点を変え、想像力を身につけることが重要であり、芸術に触れることでそれが可能となる、と述べる説明的な文章によって、言葉の知識・意味、文章構成を考慮しつつ内容や筆者の主張を読み取る力をみるとともに、それを的確に表現する能力をみる。

② 『万葉集』所収の高市黒人の和歌を題材に、「らむ」という助動詞の働きが和歌の旅情とそこに詠み込まれた時間意識とを生み出していることを、和歌の表現に即して述べた文章を読むことで、古典に関する基本的な知識や内容を読み取る力をみるとともに、古典の中に息づく人間の生き方をとらえ、それを的確に表現する能力をみる。

③ 石屋の親方の下で修行をする寛次郎が、申吉の作品に敗北感を持つものの、親方の言葉をきっかけに、それぞれの作品の良さに思い至る過程を描いた文学的文章を読むことで、文章の表現や構成に配慮しながら登場人物の心情を想像力を働かせつつ読み取り、それを的確に表現する力をみる。